

a 学校教育目標	豊かな心と表現力を養い、仲間と共に社会貢献できる、たくましい生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 「生きる力」を育み、社会貢献できる生徒の育成
----------	-------------------------------------	----------------------	--

評価計画					自己評価					改善方策	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント	
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かな学力の育成	主体的な学びを促す授業づくりにより、思考力・判断力・表現力を育成する。	指導方法の工夫・改善	「めあて」に対応した「まとめ」「振り返り」を行う。	生徒アンケートの肯定的回答率 (課題の設定, 学習過程, 振り返りに係る設問)	80%										
			話し合い活動を充実させるための指導の視点を共有する。	教職員アンケートの肯定的回答率 (課題の設定, 学習過程, 振り返りに係る設問)	80%										
		◎思考力・判断力・表現力の育成 ↓ 学力向上	「活用」記述式問題を作成・実施・評価する。	「活用」記述式問題でB評価以上の割合	70%										
			活用の中で知識を習得させる授業づくりを行う。	標準学力調査の正答率が全国平均以上の割合 <全教科・全学年(15)>	100%										
たくましい心身の育成	自己指導能力の育成 (自ら考えより良く判断し行動する生徒の育成)	生徒会活動の充実	生徒会活動を中心に、生徒の主体的な取組を充実させ、いじめ撲滅や絆づくり等に取り組む。地域等への貢献活動を促進する。	学校生活満足度についての生徒アンケートの肯定的回答率	90%										
		特別支援の充実	定期的に会議を開催し、不登校及びその傾向にある生徒に対する手立て等を検討し、組織的に取り組む。	不登校生徒数の全校生徒数に対する割合	3%										
働き方改革の推進	子供と向き合う時間の確保と長時間勤務の縮減	業務改善	学校経営会議のリーダーシップのもと、学校行事等の内容の見直しやスリム化を図るとともに、業務改善を促進する。	見直し、スリム化、業務改善が実行できた事項	学期に3つ以上										
		意識改革	組織的で計画的な業務推進とワークライフバランスの意識化を促進する。	定時退校日(部活動休養日)に17:15までに退校できた教職員の割合	90%										

【j: 自己評価 評価】
 A: 100≦(目標達成) C: 60≦(もう少し) < 80
 B: 80≦(ほぼ達成) < 100 D: (できていない) < 60

【l: 学校関係者評価 評価】
 イ: 自己評価は適正である。
 ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。